

平成16年三重県消費者物価指数の動向

1 概 要

三重県…平成16年平均の三重県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.8となり、前年に比べ0.2%の上昇でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は98.1で、前年と同水準でした。

全 国…平成16年平均の全国消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.1となり、前年と同水準となりました。

持家の帰属家賃を除く総合指数は97.7で、こちらも前年と同水準でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率でみると、県も国も平成10年まで上昇傾向が続き、平成11年～15年は下落傾向にありました。総合指数の値を県と全国で比べると、指数が上昇傾向であった平成10年までは三重県のほうが低く、下落に転じた平成11年以降は三重県のほうが高い傾向にあります。

平成16年について、三重県は6年ぶりに前年に比べ上昇し、全国は前年と同水準となりました。

(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

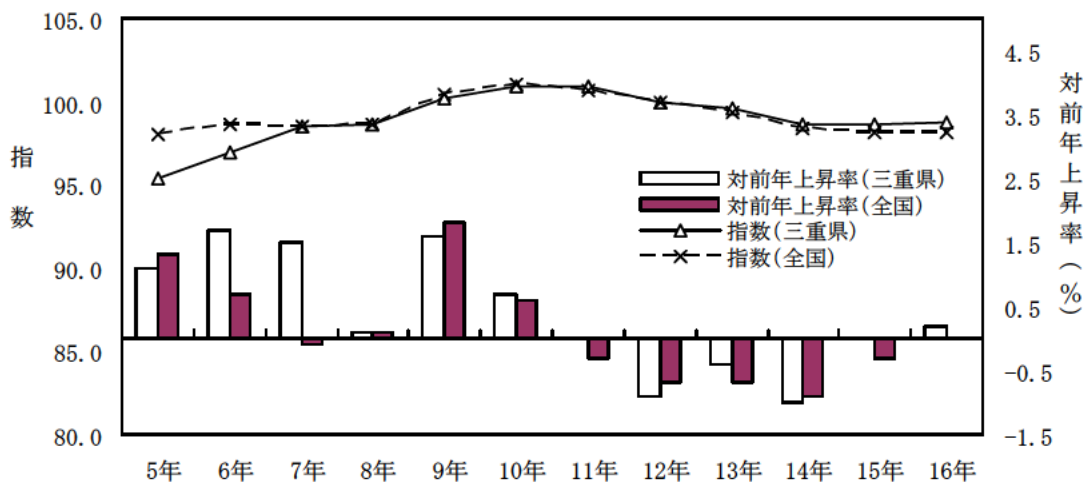


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成12年 = 100

	三重県				全国				三重県				全国				
	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	
平成3年	93.3	3.0	95.7	3.0	95.1	3.3	96.1	3.3	平成10年	100.9	0.7	101.2	0.9	101.0	0.6	101.3	0.7
平成4年	94.4	1.3	96.8	1.2	96.7	1.6	97.7	1.6	平成11年	100.9	0.0	100.9	-0.3	100.7	-0.3	100.9	-0.4
平成5年	95.4	1.0	97.7	1.0	98.0	1.3	98.8	1.1	平成12年	100.0	-0.9	100.0	-0.9	100.0	-0.7	100.0	-0.9
平成6年	97.0	1.7	98.6	1.0	98.6	0.7	99.3	0.5	平成13年	99.6	-0.4	99.3	-0.7	99.3	-0.7	99.1	-0.9
平成7年	98.5	1.6	99.0	0.4	98.5	-0.1	99.0	-0.3	平成14年	98.6	-1.0	98.3	-1.0	98.4	-0.9	98.0	-1.1
平成8年	98.6	0.1	98.9	-0.1	98.6	0.1	99.0	0.0	平成15年	98.6	0.0	98.1	-0.2	98.1	-0.3	97.7	-0.3
平成9年	100.2	1.6	100.3	1.4	100.4	1.8	100.6	1.6	平成16年	98.8	0.2	98.1	0.0	98.1	0.0	97.7	0.0

※ 持家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成16年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月は家具・家事用品や教養娯楽などが下落し、0.2%の下落、2月は食料、住居、光熱・水道などの上昇により、0.3%の上昇となりました。

3月は食料が下落に転じ、家具・家事用品、交通・通信、教養娯楽が下落したことにより、0.2%の下落、4月は前年同月と同水準、5月は食料、光熱・水道、被服及び履物、交通・通信、教養娯楽、諸雑費が上昇していますが、他が下落したことにより、0.2%の下落、6月は前年同月と同水準でした。

7月は食料、被服及び履物、交通・通信が上昇していますが、他が下落したにより0.1%の下落、8月も同様の傾向で、0.1%の下落、9月は光熱・水道が上昇に転じたものの、食料、被服及び履物などが下落したため、0.3%の下落でした。

10月は食料、光熱・水道、交通・通信などが上昇したことにより、0.7%の上昇、11月は教養娯楽が上昇に転じて、1.1%の上昇、12月は住居、教養娯楽が下落に転じましたが、食料、光熱・水道などの上昇により、0.5%の上昇となりました。

(図2、表2、統計表第1表)

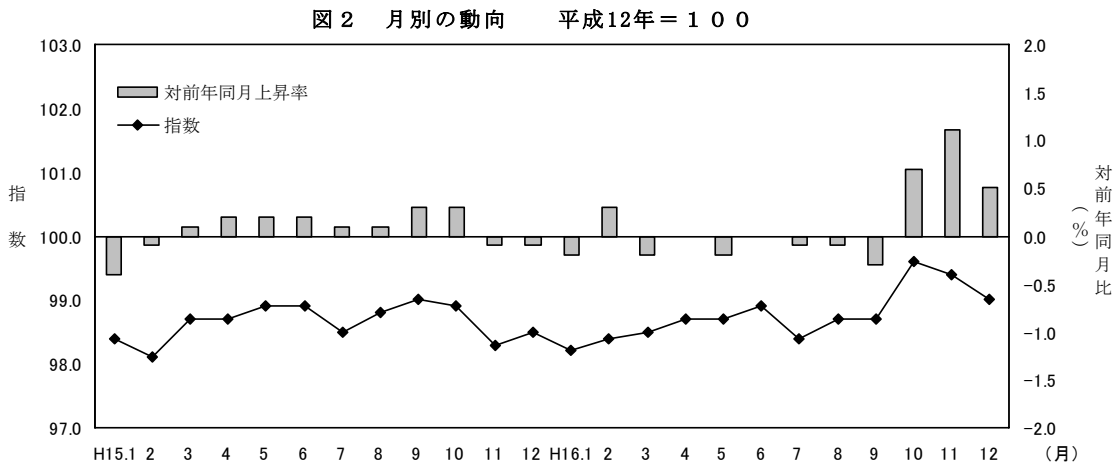


表2 対前年同月上昇率及び
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位:%

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同 月上昇率	総合	三重県	-0.2	0.3	-0.2	0.0	-0.2	0.0	-0.1	-0.1	-0.3	0.7	1.1	0.5
		全国	-0.3	0.0	-0.1	-0.4	-0.5	0.0	-0.1	-0.2	0.0	0.5	0.8	0.2
	持家の帰 属家賃を 除く総合	三重県	-0.4	0.1	-0.4	-0.4	-0.5	-0.1	-0.2	-0.1	-0.3	0.8	1.3	0.6
		全国	-0.3	0.0	-0.1	-0.6	-0.5	0.0	-0.2	-0.2	0.1	0.6	0.9	0.3
三重県総合指数対 前年同月上昇率に 対する寄与度(小・中 分類で寄与度の大き いもの)	生鮮野菜	0.01	0.15	0.03	-0.18	-0.18	0.06	-0.03	-0.14	0.04	0.63	0.86	0.22	
	穀類	0.29	0.26	0.25	0.17	0.18	0.14	0.18	0.12	-0.05	-0.14	-0.16	-0.20	
	家庭用耐 久財	-0.16	-0.15	-0.15	-0.14	-0.12	-0.12	-0.12	-0.12	-0.09	-0.06	-0.01	-0.01	
	自動車等 関係費	-0.10	-0.16	-0.28	-0.23	-0.05	0.13	0.17	0.22	0.31	0.18	0.24	0.18	

3 費目別指数の動き

平成16年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、食料、住居、光熱・水道、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、家具・家事用品、教養娯楽が下落しました。(図3、表3)

(1) 食料

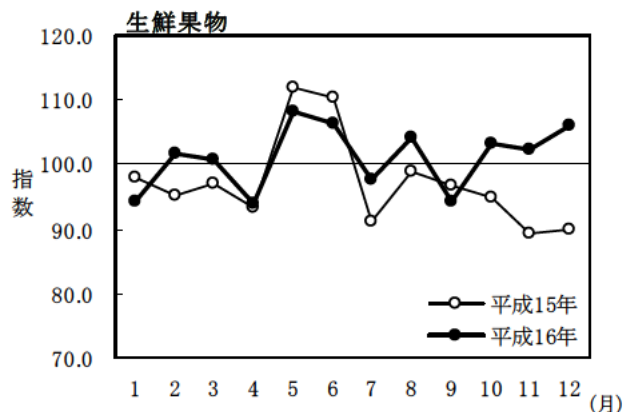
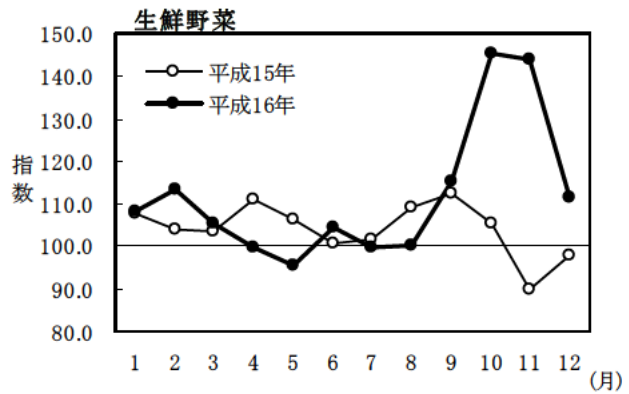
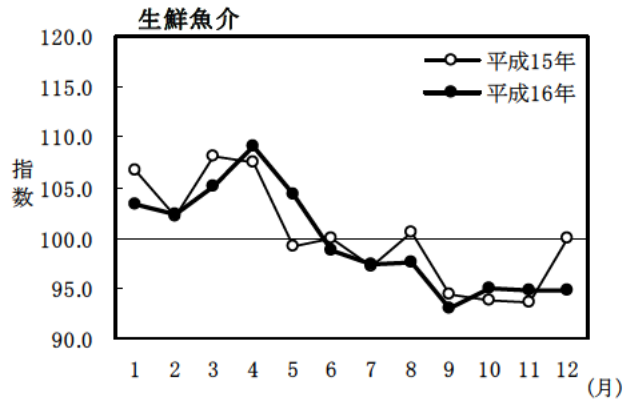
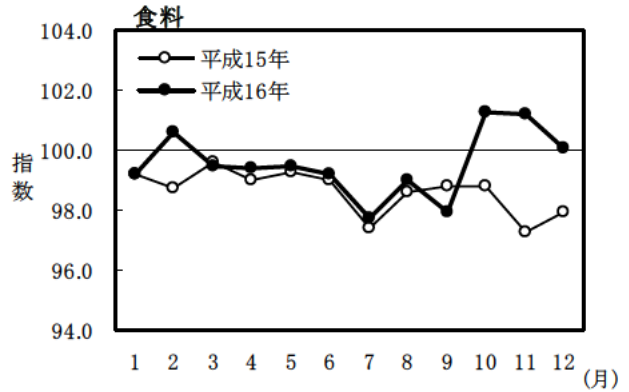
食料は 99.6 となり、前年に比べ 1.0% 上昇しました。

変化の内訳をみると、果物が 3.9 %、野菜・海藻が 3.5%、穀類が 3.5%、肉類が 3.4%、菓子類が 1.6%、外食が 0.6%、酒類が 0.2%の上昇でした。

一方、飲料が 3.2%、乳卵類が 2.8%、魚介類が 0.9%、油脂・調味料が 0.8%、調理食品が 0.8%の下落でした。

なお、生鮮食品についてみると、

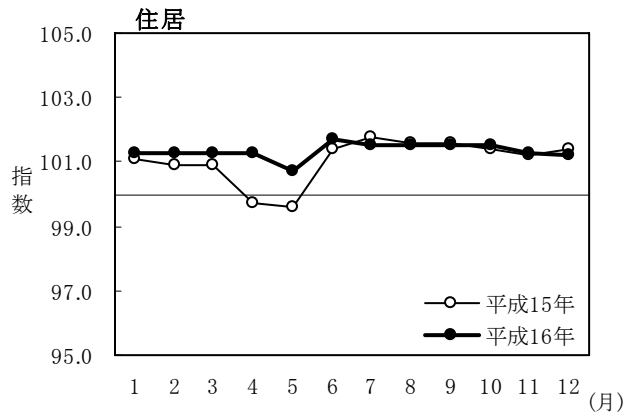
- ・生鮮魚介は、1月から5月にかけて平成12年の平均水準を上回りましたが、指数は99.6となりました。6月以降は平成12年の平均水準より低い水準で推移し、対前年比は0.6%の下落でした。
- ・生鮮野菜は、台風や集中豪雨の影響もあって、4・5・7月を除き平成12年の平均水準を上回っており指数は111.9となり、対前年比は7.4%の上昇でした。
- ・生鮮果物は、1・4・7・9月を除いて平成12年の平均水準を上回り、指数は101.1となり、対前年比は4.0%の上昇でした。



(2) 住居

住居は 101.3 となり、前年に比べ 0.2% 上昇しました。

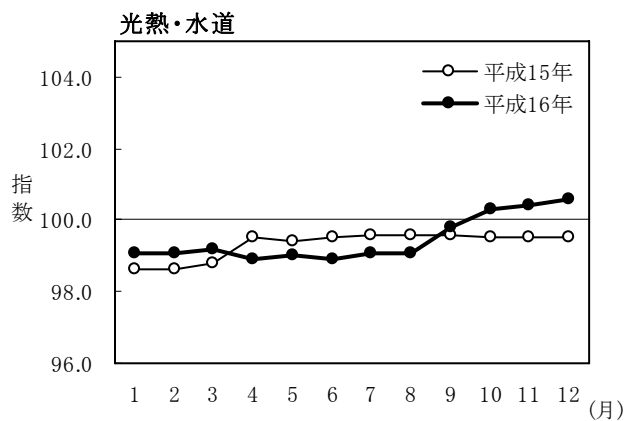
内訳をみると、家賃が 0.3% の上昇、設備修繕・維持が前年と同水準でした。



(3) 光熱・水道

光熱・水道は 99.5 となり、前年に比べ 0.2% 上昇しました。

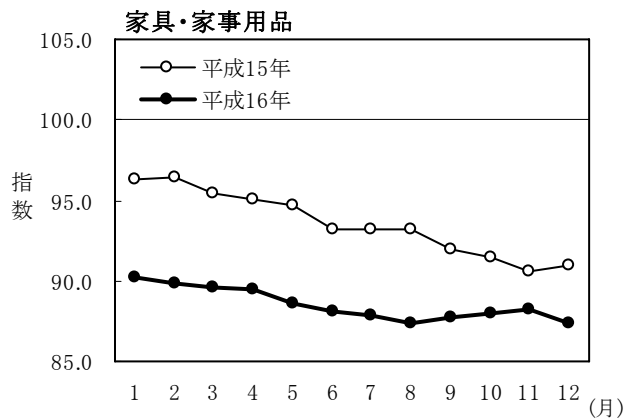
内訳をみると、他の光熱が 8.7% の上昇、上下水道は前年と同じ、電気・ガス代が 0.3% の下落でした。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 88.5 となり、前年に比べ 5.4% 下落しました。

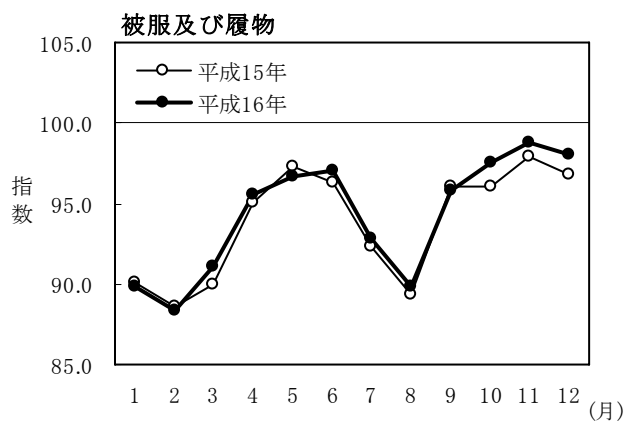
内訳をみると、室内装備品が 13.2%、家庭用耐久財が 8.6%、家事用消耗品が 4.1%、寝具類が 4.0%、家事雑貨が 1.5%、家事サービスが 0.2% の下落でした。



(5) 被服及び履物

被服及び履物は 94.3 となり、前年に比べ 0.5% 上昇しました。

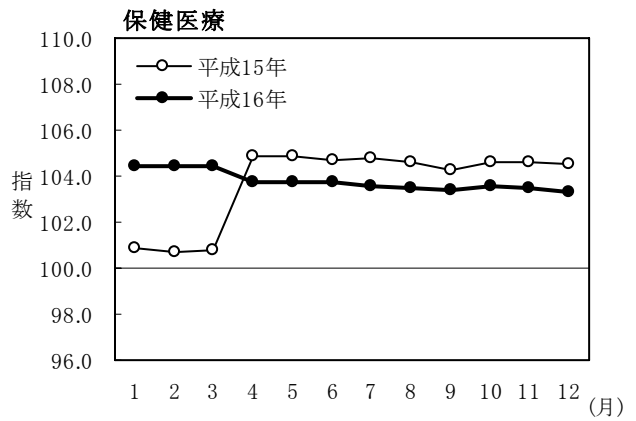
内訳をみると、シャツ・セーター・下着類が 1.6%、履物類が 0.8%、衣料が 0.1% の上昇、生地・他の被服が 0.4% の下落でした。



(6) 保健医療

保健医療は 103.8 となり、前年に比べ 0.1%上昇しました。

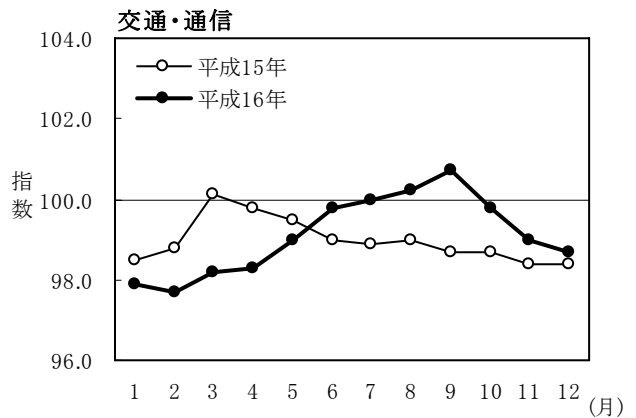
内訳をみると、保険医療サービスが 1.0%、医薬品・健康保持用摂取品が 0.4%の上昇、保健医療用品・器具が 2.9%の下落でした。



(7) 交通・通信

交通・通信は 99.1 となり、前年に比べ 0.1%上昇しました。

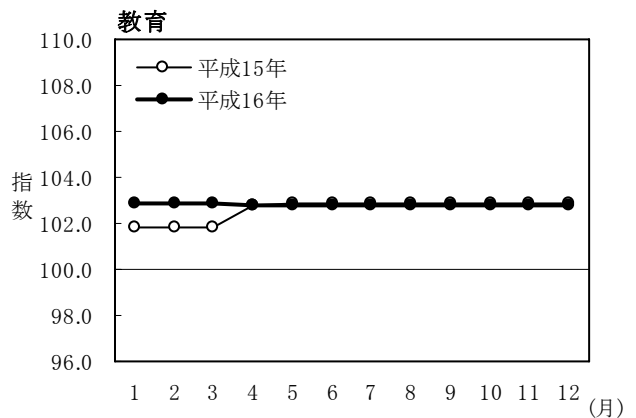
内訳をみると、自動車等関係費が 0.5%、交通が 0.1%の上昇、通信が 1.2%の下落でした。



(8) 教育

教育は 102.8 となり、前年に比べ 0.2%上昇しました。

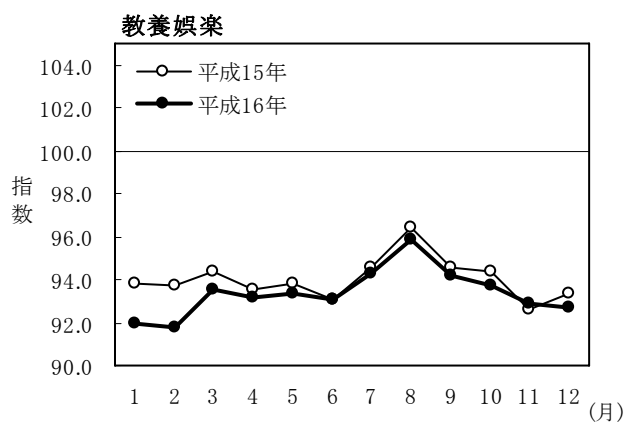
内訳をみると、授業料等が 0.8%の上昇、補習教育が 1.3%、教科書・学習参考書が 0.5%の下落でした。



(9) 教養娯楽

教養娯楽は 93.4 となり、前年に比べ 0.6%下落しました。

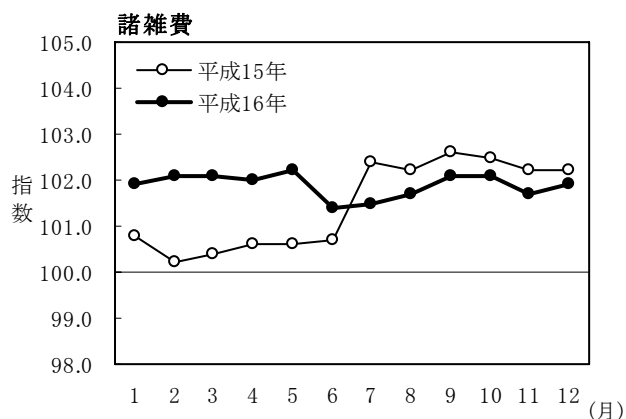
内訳をみると、教養娯楽サービスが 0.6%、書籍・他の印刷物が 0.5%の上昇、教養娯楽用耐久財が 10.1%、教養娯楽用品が 1.9%の下落でした。



(10) 諸雑費

諸雑費は 101.9 となり、前年に比べ 0.4%の上昇でした。

内訳をみると、たばこが 3.9%、身の回り用品が 2.8%の上昇、理美容用品が 2.1%、理美容サービスが 0.1%、その他が 0.1%の下落でした。



4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とはその費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率は、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比 (各費目の上昇率÷総合の上昇率×100) で表すものです。

平成16年三重県消費者物価指数は、総合で見ると前年に比べ0.2%の上昇でした。

総合に影響を及ぼした度合(寄与度)を主な中分類別費目でみると、主に食料の野菜・海藻が 0.09、穀類が0.09、交通・通信の自動車等関係費が0.05と物価を押し上げる方向に働いた一方、家具・家事用品の家庭用耐久財が-0.10、教養娯楽の教養娯楽耐久財が-0.07、教養娯楽用品が-0.05と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.20 (=総合指数の上昇率が 0.2%) となりました。

(図3、図4)

表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

指数：平成12年平均＝100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成15年平均	平成16年平均	平成15年平均	平成16年平均	平成16年平均	平成16年平均
総 合	98.6	98.8	0.0	0.2	0.20	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	98.1	98.1	-0.2	0.0	0.00	0.0
食 料	98.6	99.6	0.1	1.0	0.27	136.5
穀 類	99.1	102.6	2.3	3.5	0.09	43.3
魚 介 類	97.6	96.7	-2.9	-0.9	-0.03	-13.0
生 鮮 魚 介	100.2	99.6	-3.7	-0.6	-0.01	-5.4
肉 類	101.6	105.1	-2.8	3.4	0.07	37.4
乳 卵 類	95.1	92.4	-0.5	-2.8	-0.03	-15.9
野 菜 ・ 海 藻	100.0	103.5	4.8	3.5	0.09	47.0
生 鮮 野 菜	104.2	111.9	8.0	7.4	0.12	60.9
果 物	97.9	101.7	3.1	3.9	0.04	22.2
生 鮮 果 物	97.2	101.1	2.7	4.0	0.04	21.8
油 脂 ・ 調 味 料	97.9	97.1	-0.6	-0.8	-0.01	-4.0
菓 子 類	95.0	96.5	-0.7	1.6	0.03	17.4
調 理 食 品	101.0	100.2	1.8	-0.8	-0.02	-10.4
飲 料	94.3	91.3	-0.1	-3.2	-0.04	-20.8
酒 類	95.7	95.9	-3.1	0.2	0.00	1.2
外 食	100.0	100.6	-0.1	0.6	0.04	18.7
住 居	101.1	101.3	0.9	0.2	0.04	19.4
持家の帰属家賃を除く住居	97.4	96.9	-1.5	-0.5	-0.02	-12.4
家 賃	101.6	101.9	1.1	0.3	0.05	24.5
持家の帰属家賃を除く家賃	97.6	96.3	-2.1	-1.3	-0.02	-12.3
設 備 修 繕 ・ 維 持	98.9	98.9	-0.3	0.0	0.00	0.0
光 熱 ・ 水 道	99.3	99.5	-1.4	0.2	0.01	6.6
電 気 ・ ガ ス 代	97.2	96.9	-1.9	-0.3	-0.02	-7.7
電 気 代	95.1	94.8	-2.7	-0.3	-0.01	-4.8
ガ ス 代	100.6	100.5	-0.8	-0.1	-0.00	-1.0
他 の 光 熱	100.3	109.0	2.2	8.7	0.02	12.4
上 下 水 道	109.7	109.7	0.0	0.0	0.00	0.0
家 具 ・ 家 事 用 品	93.6	88.5	-3.4	-5.4	-0.20	-99.8
家 庭 用 耐 久 財	89.5	81.8	-5.1	-8.6	-0.10	-52.3
室 内 装 備 品	93.5	81.2	-9.5	-13.2	-0.04	-18.7
寝 具 類	81.5	78.2	-11.4	-4.0	-0.01	-6.4
家 事 雑 貨	94.4	93.0	-1.8	-1.5	-0.01	-5.1
家 事 用 消 耗 品	98.4	94.4	1.4	-4.1	-0.03	-13.8
家 事 サ ー ビ ス	106.7	106.5	1.2	-0.2	-0.00	-0.5
被 服 及 び 履 物	93.8	94.3	-0.8	0.5	0.03	14.7
衣 料	93.4	93.5	-0.3	0.1	0.00	1.3
シャツ・セーター・下着類	91.0	92.5	-1.2	1.6	0.03	12.7
履 物 類	94.5	95.3	-1.0	0.8	0.01	2.5
生 地 ・ 他 の 被 服 類	99.5	99.1	-1.3	-0.4	-0.00	-1.9
保 健 医 療	103.7	103.8	3.6	0.1	0.00	1.9
医薬品・健康保持用摂取品	99.0	99.4	0.2	0.4	0.00	2.4
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	94.0	91.3	-2.2	-2.9	-0.02	-10.3
保 健 医 療 サ ー ビ ス	110.7	111.8	7.9	1.0	0.02	10.2
交 通 ・ 通 信	99.0	99.1	0.1	0.1	0.01	7.2
交 通	100.1	100.2	0.0	0.1	0.00	1.2
自 動 車 等 関 係 費	100.9	101.4	0.1	0.5	0.05	22.5
通 信	92.5	91.4	0.1	-1.2	-0.03	-16.5
教 育	102.6	102.8	1.0	0.2	0.01	4.4
授 業 料 等	103.6	104.4	1.5	0.8	0.03	12.6
教 科 書 ・ 学 習 参 考 書	102.0	101.5	-0.6	-0.5	-0.00	-0.3
補 習 教 育	100.0	98.7	0.0	-1.3	-0.01	-7.2
教 養 娛 楽	94.0	93.4	-1.1	-0.6	-0.07	-34.1
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	64.3	57.8	-13.0	-10.1	-0.07	-34.3
教 養 娛 楽 用 品	97.0	95.2	-0.2	-1.9	-0.05	-23.5
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	100.5	101.0	0.2	0.5	0.01	3.9
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	96.3	96.9	0.0	0.6	0.04	18.5
諸 雑 費	101.5	101.9	1.4	0.4	0.02	8.8
理 美 容 サ ー ビ ス	100.1	100.0	0.1	-0.1	-0.00	-0.6
理 美 容 用 品	97.4	95.4	-0.2	-2.1	-0.03	-13.0
身 の 回 り 用 品	107.9	110.9	4.4	2.8	0.02	11.7
た ば こ	104.1	108.2	4.1	3.9	0.02	12.5
そ の 他	102.2	102.1	0.3	-0.1	-0.00	-0.2

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

図3 費目別対前年上昇率(%)

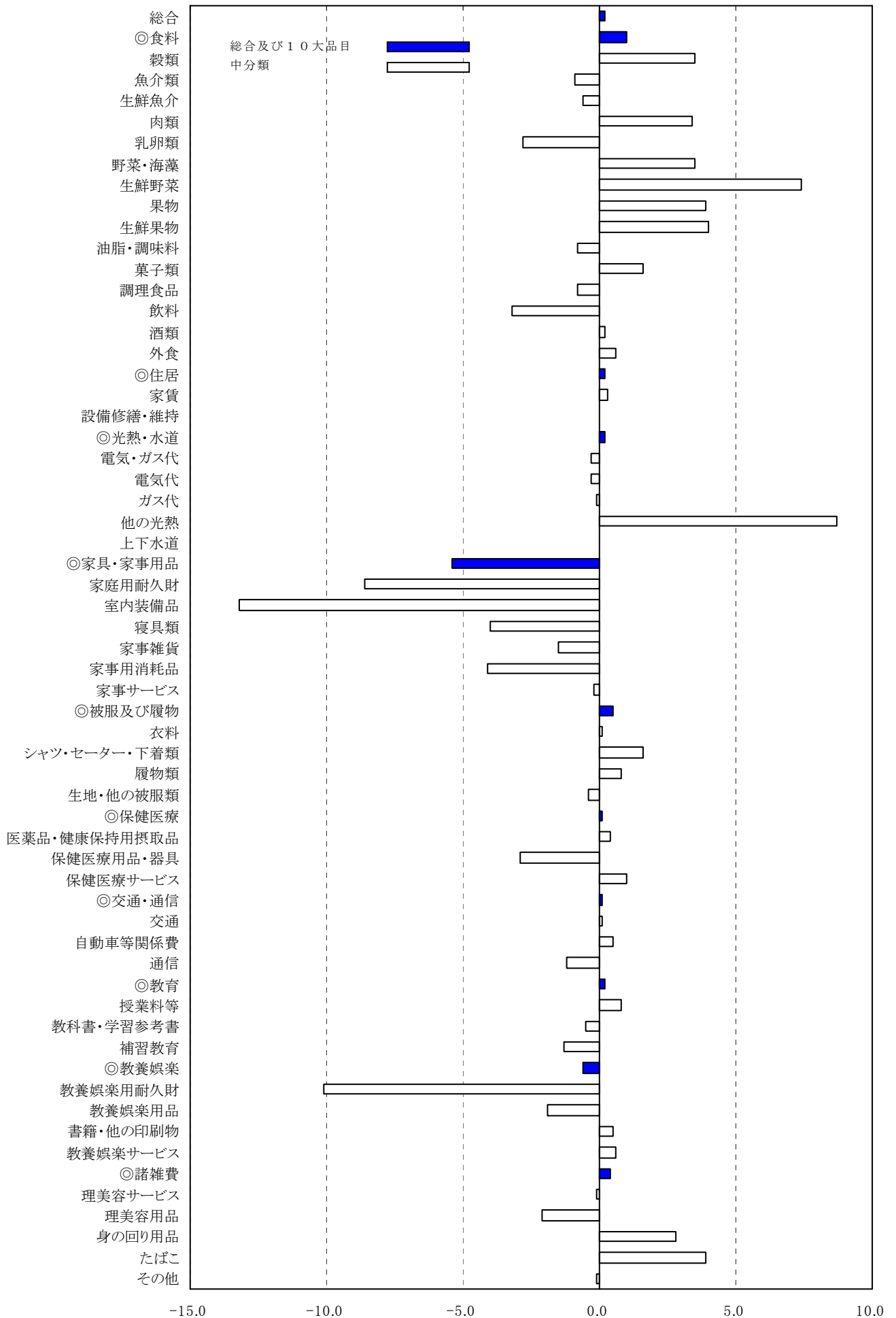
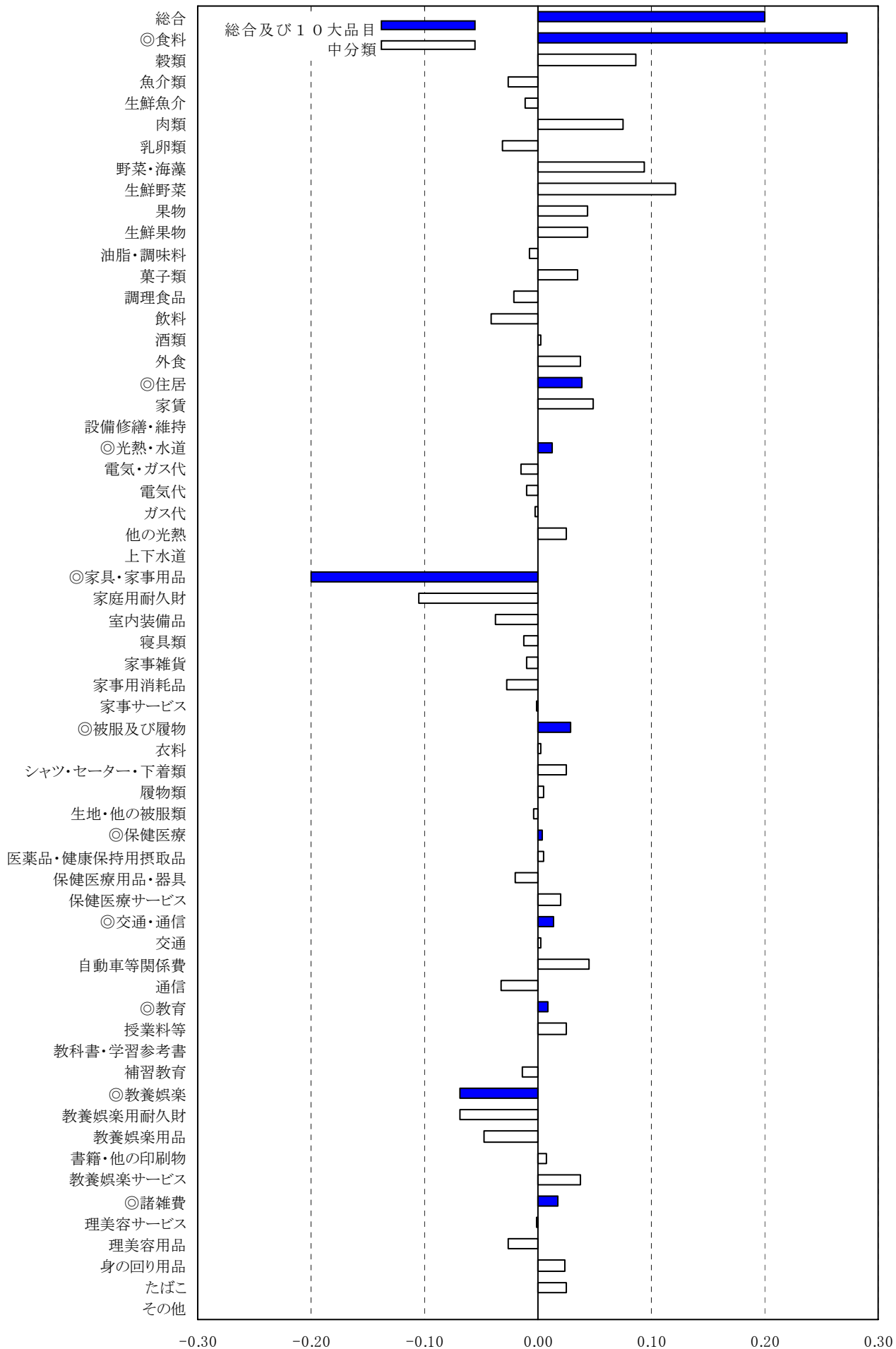


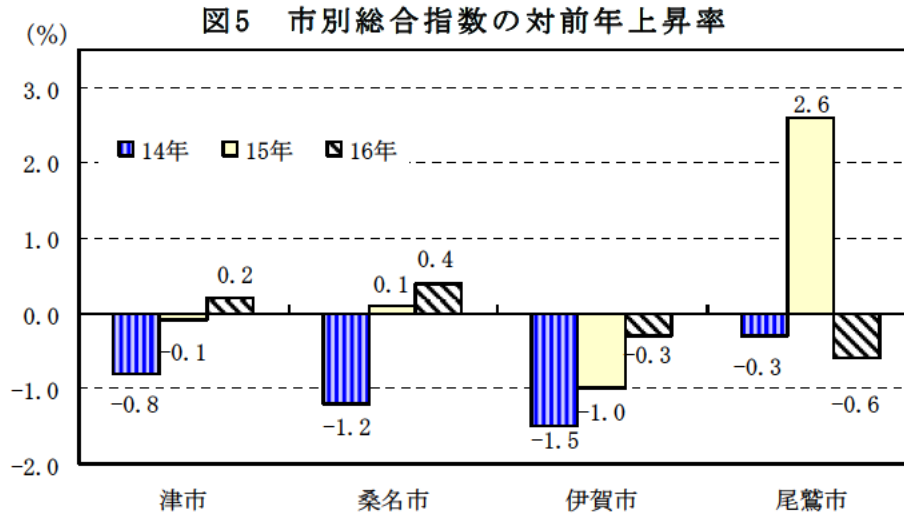
図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率でみると、桑名市（*）で0.4%上昇したほか、津市で0.2%の上昇、尾鷲市で0.6%の下落、伊賀市（*）で0.3%の下落でした。

（図5、表4）



（内訳）

4市を通してみるといずれの市も食料が上昇した一方、家具・家事用品、教育娯楽については4市全てが下落しました。

個々に見ると、津市では、食料が1.2%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。また、保健医療については0.5%の上昇で4市の中で唯一の上昇となっています。桑名市（*）では、住居が3.1%の上昇で4市の中で唯一の上昇となっています。伊賀市（*）では、家具・家事用品が6.2%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、保健医療が0.8%の下落で4市の中では最大の下落幅となっています。

表4 都市別10大費目別対前年上昇率

（単位：%）

	総 合	除 持 家の く 帰 属 家 賃 を 合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	0.2	0.2	1.2	-0.3	0.0	-4.9	1.4	0.5	0.5	0.4	-0.8	0.0
桑名市	0.4	-0.2	0.5	3.1	0.6	-5.7	-0.4	-0.2	-0.4	0.0	-0.6	0.9
伊賀市	-0.3	-0.1	1.1	-1.5	-0.1	-6.2	-0.7	-0.3	-0.1	0.2	-0.8	1.0
尾鷲市	-0.6	-0.1	0.8	-2.6	0.1	-4.9	1.1	-0.8	0.0	0.0	-0.3	0.4

※（*）については、市町村合併前の旧市地域での調査